

平成 18 年 10 月 19 日

報 道 各 位

新日鉱グループ
日鉱金属株式会社

日立地区リニューアル計画の推進について

1. 日鉱金属株式会社（本店：東京都港区虎ノ門二丁目 社長：岡田昌徳 以下「日鉱金属」）は、日立地区において、銅電解精製事業、環境リサイクル事業、銅箔事業、精密めっき事業等の多様な事業および研究開発を行っておりますが、今般、創業 100 周年を迎えた同地区において、新たな 100 年に向けての事業基盤を整備する観点から、各事業の効率的運営および増強、研究開発機能の強化、更には構内インフラの整備等を目的として、同地区全体を対象に、建屋、設備等の撤去、建替え・配置換え、増強等による「日立地区リニューアル計画」を推進することといたしました。
2. 現在、日立地区に所在している建屋、設備等は、事業ごとに概ねまとまった場所にあるものの、操業・物流等の面では必ずしも効率的なレイアウトとなっておらず、工場建屋は一部老朽化が進んでいるものもあります。一方、本年 4 月の新日鉱グループ金属系 3 社の統合を機に、各事業の集積する同地区において、各事業のより効率的・機動的な運営を検討してまいりました結果、本年 10 月 1 日をもって日立工場と白銀工場の間接部門を統合するとともに、概要次のとおりの「日立地区リニューアル計画」を策定、実行してまいることといたしました。

3. 日立地区リニューアル計画の概要

（1）目的および実施概要

①エリア整備

日立地区を次のとおり 3 つのエリアに分け、各エリア内に建屋・設備等を集約し、それぞれの事業の効率的・機動的運営を図る。

- ・大雄院エリア 環境リサイクル事業エリア
- ・芝内西エリア 銅電解精製事業エリア
- ・白銀／芝内東エリア ハイテク／技術開発エリア
(銅箔・マキナス® * 等回路関連材料事業)
(精密めっき事業)
(技術開発センター)

②設備等の増設による機能強化

- ・環境リサイクル事業における HMC * 計画の開始
- ・精密めっき事業におけるめっきラインの増設
- ・技術開発センターにおける各種研究エリアの拡張

③構内インフラの整備

エリア整備にあたっては、作業環境の改善・工場内の美化を含め、今後の設備増強に対応した構内インフラの整備を行う。

- ・ 構内物流の整備
- ・ 総合事務所、福利厚生棟の建替
- ・ 不要建屋、設備等の撤去、配置換え

(注) **「マキナス」**: 半導体実装用フィルム (チップオンフィルム) 向けの二層めっき材製品で、液晶表示装置に使用される。

当社白銀工場において、本格事業化に向けてサンプル製造、出荷を開始している。

「HMC」: 当社が今後、環境リサイクル事業の新規事業として予定している「日立メタル・リサイクル・コンプレックス」の略称。日立工場内に銅回収炉、湿式処理設備等を新設し、日鉱環境㈱のリサイクル炉、クリーンZ炉とともに、低品位スクラップから金、銀、銅等を回収するほか、日鉱製錬㈱佐賀製錬所の製錬工程において発生する中間生産物からアンチモン、ビスマス、錫等を回収する事業。

(2) 投資総額: 約 110 億円 (生産設備増強に伴う設備投資を除く)

(3) 全体工期: 平成 18 年度下期中着工, 平成 21 年度末完成 (約 3.5 年間)

4. 当社としては、本リニューアル計画を推進し、日立地区のレイアウトの見直し、設備の増強、構内インフラの整備等により、足下の事業にとどまらず、今後の事業拡張にも対応できる体制を構築してまいります。

以 上

【お問合せ先】

日鉱金属株式会社

総務部総務担当 河田, 檜崎

(TEL: 03-5573-7223)

(参考) 日立地区構内配置図

